



東電パートナーズ
大西斉社長

東京電力子会社で、訪問介護、デイサービスなどを展開するのが東電パートナーズ(東京都江東区)だ。2006年の設立以来赤字経営が続いていたが、2009年度決算で初の黒字を達成。それを足がかりに2011年度は事業拡大に積極的に取り組んでいくという。業績回復の立役者、大西斉社長に話を聞いた。

2009年度決算 初の黒字を計上

—2009年度決算で黒字を計上しました。

大西 もともと東京電力 ました。私は07年11月は、グループの社内カンパニ 月に代表に就任し、08年 大西 不採算の事業所を1として2001年に介 度は赤字額を大幅に削減 統廃合したり、人員整理 護事業を開始、06年1月 減、09年度は6700万 を行ったりと経営のスリ に分社化して独立しまし 円の黒字を計上すること ム化は図りましたが、売 だが、初年度、次年度と が出来ました。 り上げ規模はずっと25億 大幅な赤字を計上してし 事業再生のポイント 円前後を維持し続けまし

年2〜3ヶ所のペースで事業所開設目指す

にしたことは 大西 ヘルパーの質にこだわりました。例えば研修制度は職種別・階層別に20程のメニューを用意しています。ヘルパーは自らのスキルアップ・キ ャリアップに積極的ですので、会社としてその 熱意に応える必要があります。また、それらの研 修の講師は社員が務めま すので、社員のスキルア ャップにも繋がります。 さらに、昨年10月より 「ヘルパースター制度」を開始しました。これは登 録ヘルパーを対象に技術 力や指導力を社内技能認 定制度を元に評価し、ひ とつ星から三つ星までの 評価を行うものです。星 が増えることに時給も10 円つつアップします。現 在未稼働も含め、登録へ つなげたいと考えていま ルパーは約1100人い ますが、そのうち約半数 が3月末までに星取得の ための試験を受けます。 ヘルパー対象の モニタリング実施 —ヘルパーのスキルを 正当に評価する、とい うことです。 大西 評価については社 内だけではなくケアマネ ジャーなど社外の声も参 考にします。09年より、 外部から感謝されたこと について、それに該当す る事業者や個人を表彰す る「ありがとう制度」を 行っています。こうした 響が大きくなくなってしま います。それに対して当社 は東京電力という大きな バックボーンがあり、安 定性という面で優れてい ます。今後はこうした面 も利用者に大きくアピ ー ます。

た。また昨年4月には東京電力およびグループ会社の社員・OBなどを主な対象にした有料老人ホームの紹介事業を開始するなど新事業にも着手しました。スリム化するところはする一方で、積極的な姿勢を持ったことがポイントといえます。 —積極的な展開を行う上で、セールスポイント